

多高通信

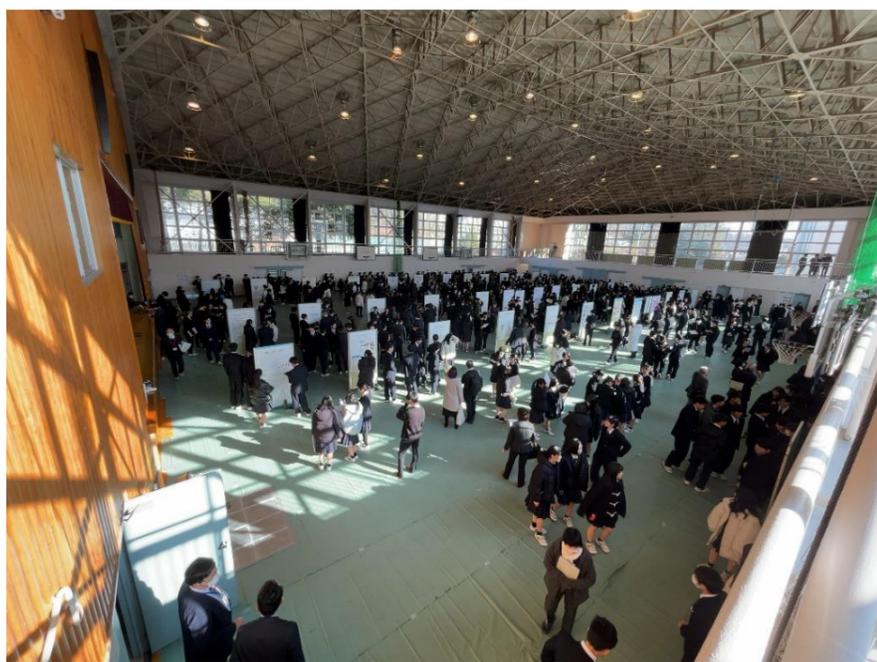
第233号 令和7年3月27日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

「3・11メモリアル Re-Dit ミーティング」開催!

1月31日(金)～2月1日(土)の2日間、東日本大震災の経験と教訓を全国各地・後世に継承し、全国の高校生が自分の地元地域の防災・減災に関する問題や課題を焦点化していくきっかけを作ること



1日目は、開会行事の後に、参加校の学校紹介や国土交通省東北地方整備局企画部企画課より日野口徹課長補佐による基調講話、そして参加者によるグループワークが行われました。そして2日目は体育館を会場にしたポスターセッションを行いました。各校の探究活動の成果について発表し、参加校生徒の探究力・議論力・統合力の向上を図り、防災・減災に貢献する意欲を高めることができました。午後には本校災害科学科の生徒がナビゲートする「津波伝承まち歩きツアー」が行われました。



1学年

この2日間の日程をとおして、参加した生徒達は、防災・減災に関するお互いの取組や研究内容、地域に根ざした活動など、大いに刺激し合い、深く交流することができました。

出前講座「成年になるといってこと」実施

3月14日(金)に「くらしと安全A」の授業で、公益財団法人生命保険文化センター生活情報研究室主査の柴田有斗様に講義をいただきました。自立した消費者として、家計管理や生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について考える



良い機会となりました。また、消費行動における意志決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解することができ、受講した生徒は自分ごととして真剣に聞いていました。この講義は、学生たちが将来の生活設計や経済的な自立に向けた意識を高める貴重な機会となりました。柴田様の具体的な事例や実践的なアドバイスにより、学生たちはより現実的な視点から消費者としての責任を考えることができました。

合唱部・吹奏楽部

多賀城万灯会への参加

3月11日(火)、JR仙石線多賀城駅前広場で開催された東日本大震災追悼イベント「多賀城万灯会」に本校の合唱部と吹奏楽部が参加しました。



生徒達は、祈りの気持ちと、震災の記憶を忘れずに後世に伝えていきたいという想いを込めて合唱を披露しました。今年で14年目を迎えるこの行事は、2011年3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた219名の鎮魂を祈り、多賀城市の復興を願うとともに、震災の記憶を後世に伝えることを目的としています。また、貞観11年(869年)に起こった陸奥国大震災で被害を受けた多賀城の災害と復興の歴史について学ぶことも意図しています。地域の人々が集まり、灯籠の光に包まれながら、静かに祈りを捧げ、震災の記憶を共有する経験ができました。また、未来への希望を持つ機会となりました。

男子バドミントン部

仙塩選手権大会

男子1部学校対抗戦 第3位

2年2組 本田 哲平 (塩釜市立玉川中出身)

今年の仙塩選手権は、ベンチ入りメンバーの1人がインフルエンザに罹患したため、試合が成立する最低人数の5人で試合をすることになりました。苦しい状況ではありましたが、5人がそれぞれ持てる力を発揮したことで、一昨年、昨年の2位に続き、今年は3位になることができました。これは、一つのプレーがしっかりとできたことに加え、チームとしての応援によるものだと思っています。私たちの試合だけでなく、他校の試合においても応援によって流れが大きく変わった場面を何度も目にしました。次の大会においても、流れを引き寄せられるような応援をしていきたいです。さらに、相手校の応援に動じないメンタルを持ち、場の雰囲気にも飲まれないようにプレーしたいと思っています。

